

質問・回答一覧表

番号	年次報告書掲載箇所	質問事項	回答	関係課
1	<p>P5 図表 7 男女の地位の平等感</p>	<p>全国平均との対比をしているが（相対的評価より絶対的評価に意味があると思うが）</p> <p>①意識の括りが5段階表示になっているが、第1回審議会では3段階表示であった→5段階にした理由は。</p> <p>②全国との差異が各△13%、△11%、△10%ある原因の分析は行っているのか？また、それは各種施策にどのように反映されているのか。</p> <p>③千葉市での経年変化の把握はしているのか。</p>	<p>①第1回審議会では、「男女共同参画に関する意識調査 調査報告書ダイジェスト版」をお配りしました。本来年次報告書では、5段階での表示としています。</p> <p>②明確な理由は不明です。各種施策への反映ですが、一例として、家庭生活においては、現状として家事や育児といった役割の多くを女性が担っていますので、男女がともに家庭生活を担うための意識啓発や知識習得に関する講座などを男女共同参画センターなどで実施しています。</p> <p>③経年変化の把握はしています。本市では、平成15年、21年、25年に調査しており、学校・職場・家庭など、ほとんどの項目において過去の調査結果を上回る数値が出ています。</p>	<p>男女共同参画課</p>

番号	年次報告書掲載箇所	質問事項	回答	関係課
2	P12 (3)基本目標 3 教育の分野における男女共同参画の推進	<p>報告書には、P5 図表 7 を根拠に、「教育の分野は平等になっている割合が高い」との記載がありますが、P12 図表 18 によると、千葉市において、「学校教育における平等感」について「平等になっている」と感じた人の割合（54.2%）は、全国（67.0%）を大きく下回っていると読めます。つきましては以下の 4 点についてご回答下さい。</p> <p>①普通に考えればこの記載はミスリードであり、「千葉市においては、学校教育において、『平等になっている』と考える人の割合が全国より低い」と率直に記載すべきと考えられるが、このような記載となった理由は何か。</p> <p>②報告書には、この項目に続いて、教職員における女性の割合、管理職比率の記載が続いているため、市として「学校教育の場における男女の地位の平等感」という問題と、「男女の教職員の比率及び処遇」の問題を、同じ問題もしくは強い相関のある問題と捉えているように読めるが、そのような理解でよいか。</p>	<p>①P5「ア 男女の地位の平等感」において、「平成 24 年実施の全国調査と比較すると、平等と感じている人の割合が低い傾向がみられます」と記載しているため、P12 においてはご覧の通りの記載としています。</p> <p>②(3)基本目標 3「教育の分野における男女共同参画の推進」に関連する資料ということで掲載しています。</p>	男女共同参画課

番号	年次報告書掲載箇所	質問事項	回答	関係課
		<p>③「男女の教職員の比率及び処遇」の問題以外に、市として「学校教育の場における男女の地位の平等感」に影響を与えていると認識している要素、問題意識はあるか。</p> <p>④ある場合、具体的にどのような施策、事業に取り組んでいるか。</p>	<p>③「学校教育の場における男女の地位の平等感」は、平成 25 年度実施の「男女共同参画に関する意識調査」の結果であり、実際の「学校教育の場」の意識とはズレがあるものと推測されます。</p> <p>プランが来年度で最終年度を迎えることから、男女平等教育の推進については、新プランにおいても所管と協議しながら位置づける予定です。</p>	
3	<p>P17 図表 27 夫婦と子どもの世帯における妻の就労状況別夫の生活時間（全国）</p>	<p>各年度とも 10 分未満→有意差があるといえるか。</p>	<p>有意差とまで言えないかもしれませんが、以前から夫の家事・育児にかかる時間が少ないと言われており、この表では妻の就業状況に関わらず、夫の育児にかかる時間が増えるなど、男性の育児参画が少しずつ浸透してきているのではないかと考えます。</p>	<p>男女共同参画課</p>

番号	年次報告書掲載箇所	質問事項	回答	関係課
4	P22 新ハーモニープラン指標進捗管理表 基本目標 1	「男性は仕事、女性は家庭・育児といった固定的性別役割分担意識を持たない人の割合」が平成 21 年度 36.7%から平成 23 年度 41.5%と増加したが、平成 25 年度 25.1%と減少した要因について。	男性も女性も年代が高くなるにつれ「固定的性別役割分担意識を持たない人の割合」が減る傾向にあり、平成 21 年度と 25 年度を比較した場合、年齢別人口で増加している 60 歳以上の回答率が 6.9 ポイント増となったことが、減少した要因の一つと考えられるものの、すべての年代で減少が見られることから、婚姻の有無や就労形態などといった様々な条件の変化とも関わっているものと推定されます。	男女共同参画課
5	P23 新ハーモニープラン指標進捗管理表 基本目標 8	①「特定保健指導の実施率」がH21 年度 17.7%→H25 年度 11.2%となっており、数値が低く、更に 4 年で 6.5%低下した理由としてどのようなことが考えられるか。 (例えば、かかりつけ医に相談できるので、行政サービスの需要が減っているなど)  ②特定健診、健康診査に関連する項目は男女共同参画事業の主旨からやや外れるのではないかと？その他にたくさんの案件があることを考えると他の事業であつかうよう、一本化しても良いかと思った。	①保健指導方法が医療機関を会場とした 7 回の面接指導形態であり、続けづらさが予想されること、健診及び保健指導利用率が約 7 割の中、保健指導が 2~3 年続けて対象となった者の保健指導利用率が低下していることが、保健指導実施率全体の低下の理由となっていると考えています。  ②新ハーモニープラン（後期計画）の基本目標 8 「生涯にわたる心身の健康と性に関する理解への支援」において、日々の健康づくりを支援する観点で指標として設定しています。なお、プランが来年度で最終年度を迎えることから、新プランにおける指標の設定については見直す予定です。	①健康保険課  ②男女共同参画課

番号	年次報告書掲載箇所	質問事項	回答	関係課
6	P22,23 新ハーモニープラン指標進捗管理表	当該指標の設定計画でのプランや計画という目標は、男女共同参画の見地から策定されているのか。	指標の設定については、男女共同参画社会の形成に向けて、千葉市の状況がどの程度進んだのか検証するため、また成果をわかりやすく示すため、さらに、各分野における取組みの推進力となるよう、各基本目標ごとに設定しています。	男女共同参画課
7	P25 3 施策の自己評価	<p>施策に対する評価が、行政の自己評価に留まり、市民や外部有識者等の第三者観点による評価が欠落していることには疑問を禁じ得ません。特に「自己評価2」について、「あまり効果がなかった」が「0 事業」となった点には、担当した施策を率直に見直すことが難しい・現状肯定に偏りがちになるという、自己評価方式の限界が示されているものと思料します。つきましては以下の4点についてご回答下さい。</p> <p>①市として、今後施策の評価方式について、第三者観点を取り入れる必要性を認識しているかどうか。</p> <p>②認識していない場合、その理由は何か。</p>	<p>①本審議会は、学識経験者、市民の代表者等から構成されていますので、第三者の立場としての委員の皆様よりいただいたご意見等は所管課に伝え、施策の実施方法等を見直すことなど、実効性のあるものとなっています。</p>	男女共同参画課

番号	年次報告書掲載箇所	質問事項	回答	関係課
		<p>③自己評価形式によらずとも、今後評価段階により率直な、ゼロベースの観点（例：市として、「施策になお改善の余地がある」「施策に大幅な見直しの余地がある」）を取り入れる必要性を認識しているかどうか。</p> <p>④認識していない場合、その理由は何か。</p>	<p>③自己評価 2 については、各所管課に評価の理由を記入してもらっており、評価がCであった場合には、併せて改善策も記入してもらうようにしています。</p>	
8	P27～67	P27 以降についても、男女共同参画の見地から策定されているのか。	各基本目標ごとに設定している指標の目標達成に向けて、庁内の関連する事業を掲載しています。	男女共同参画課
9	<p>P38 ③子どもの教育に対する家庭や地域の積極的参画及び</p> <p>P48 ①家庭における共同参画意識の醸成</p>	<p>P17 図表 27 にみられるとおり、男性の育児参加は進んでいないのが全国的現状であり、この点は千葉市においても同様であると認識しています。小生が個人の生活実感として、その事実を痛感するのは、「読み聞かせ」「授業参観」等の学校行事における男性参加者の少なさです。しかしながら、報告書をみる限りでは、「教育への家庭や地域の参画」「家事・育児への男性の参画」に関する事業はそれぞれあるものの、男性の育児参加度合いが端的に表れる「教育（学校行事）への男性の参画」を推進するという観点</p>		教育委員会指導課

番号	年次報告書掲載箇所	質問事項	回答	関係課
		<p>は、双方の事業の間のいわば「ポテンヒット」となっており、具体的な取り組みがなされていないように見えます。つきましては以下の4点についてご回答下さい。</p> <p>①市として、学校行事への男性の参画推進について、何らかの施策、事業に現在取り組んでいるか。</p> <p>②取り組んでいない場合、今後取り組む必要性を認識しているか。</p> <p>③認識していない場合、その理由は何か。</p>	<p>①各学校においては、授業参観や学習発表会、運動会等を土曜日に実施することで、保護者が参加できる機会を設けており、母親のみならず父親、祖父祖母の参加も多いです。</p> <p>また、学校によっては「おやじの会」が結成され、運動会の準備や、除草活動等を通して、学校教育活動を支援して頂いています。</p>	
10	P40 事業 No.32301	<p>「男女共同参画に関する講座の開催」において、講座数が44講座から33講座と減少しているが、予算額が前年度に比べ、約90万円増加している理由について。</p>	<p>平成25年度の講座数は44講座で、実施回数は89回（1講座平均2回）実施しました。</p> <p>平成26年度の講座数は33講座と減少しているが、実施回数は96回（1講座平均3回）と、実施回数では増加しているため予算が増えています。</p>	男女共同参画センター

番号	年次報告書掲載箇所	質問事項	回答	関係課
11	P45. 事業 No.44202、44203	「蘇我・幕張勤労市民プラザ事業」の平成 25 年度決算額、平成 26 年度予算額が 0 円となっている理由について。	表記に誤りがありましたので訂正します。 長沼原・蘇我・幕張の 3 館の合計額が事業 No.44201 に計上されていますので、事業 No.44201～44203 の枠をつなげる形にしたいと思います。	経済企画課 (回答は男女共同参画課作成)
12	P49 事業 No.61106	「家庭教育支援事業」において、平成 26 年度事業（計画）は前年度と同じと記載があるが、平成 26 年度予算額が約 100 万円増加している理由について。	平成 26 年度予算額に誤りがありましたので訂正します。 (誤) 1,622 千円→(正) 638 千円	生涯学習振興課
13	P55 事業 No.64104	「母子家庭等就業・自立支援センター事業」 ①就業支援講習会（パソコン、介護職員初任者研修）の講師は外部委託であるか？また、外部委託である場合の、委託先の選定方法について。  ②就業相談・延べ件数が平成 24 年度実績 262 件から平成 25 年度実績 1,348 件と 1,000 件以上増加しているが、その要因について。	①託児可能であり、中央区内で講習会を実施しうる仕様書要件に合う事業者に対し、委託により、実施しています。事業者の選定方法は、パソコン講習については、千葉市委託入札参加資格者名簿から、実施可能な複数事業者による見積もり合わせにより、介護職員初任者研修については、県の介護職員初任者研修指定事業者から、希望型競争入札により、選定しております。 ②平成 24 年度数値に誤りがありましたので訂正します。 就業相談延べ件数について、正しい実績は、平成 23 年度 1,509 件、平成 24 年度 1,486 件、平成 25 年度 1,348 件となっております。	健全育成課

